

ダイバーシティ社会への取り組み

男女共同参画編

茨城県や取手市では、すべての市民が性別に関係なく、対等な社会の構成員として生き生き暮らせる社会を目指すため、様々な取り組みを行っています。ここでは、取り組み事例の一部をご紹介します。

小学校での出前講座



取手市では、市内小学校で人権教育の授業として男女共同参画の出前講座を行っています。取手市の女性団体「レディースフォーラムとりで」に御協力いただき、将来の夢や家事の役割分担について考え、さまざまな生き方を選択できることを伝えています。



取手西小学校での出前講座



戸頭小学校での出前講座

家事・育児シェア「見える化」シート

取手市では、パートナー同士が家庭内で理想の役割分担を見つけることを目的とした、「家事・育児シェア『見える化』シート」を作成・配布しています。

家事・育児の役割分担について、ご家族やパートナーと話し合ってみてはいかがでしょうか。

(活用方法)

1. 2色のペンを用意して、パートナー同士がそれぞれ行っている家庭内での役割分担の比率で色を塗ります。
2. 「見える化」された家事・育児の分担結果から“気づき”を得て両者が話し合います。

※シートは、取手市役所（取手庁舎）2階の市民協働課で配布しています。

シートのダウンロードはこちら→



いばらきパートナーシップ宣誓制度

いばらきパートナーシップ宣誓制度は、婚姻制度とは異なり、法的な効力はありませんが、一方又は双方が性的マイノリティである2人から、パートナーシップ関係にあることの宣誓があったことを、県が公的に証明する制度です。（一方又は双方が茨城県民である必要があります。なお、転入予定の場合も含みます。）

宣誓後、県から受領書等が交付され、幅広い場面で活用することができます。

【活用例】公営住宅の入居申込、ペアローンの申請、医療現場で「家族としての手術の同意、保険金の受取人指定

※受領書等が活用できる民間団体等については、県ホームページ（「いばらきパートナーシップ宣誓制度を実施しています」）

または、以下二次元コードからご確認ください。

◆制度についてのお問い合わせ先

茨城県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」

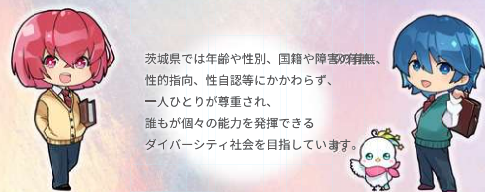
電話：029-233-3982 メール：sankaku@pref.ibaraki.lg.jp

制度についての詳細はこちら→



いばらきパートナーシップ宣誓制度

一方又は双方が性的マイノリティである2人からパートナーシップ関係にあることの宣誓があったことを、県が公的に証明する制度です。



宣誓された方へお渡しする受領カードはこんな場面で活用できます



公営住宅の申込やペアローンの申請



医療現場での家族としての手術の同意等



携帯電話の家族制や保険金の受取人指定など

パートナーの方が家族と同一扱いになるように、茨城県から事業者へお願いしています。宣誓書が県外へ引越す場合でも、移居手続きで宣誓が有効となるよう自治体との連携を随時拡大しています。

制度の詳細はこちら



ダイバーシティ社会への取り組み

多文化共生編

取手市には令和8年2月時点で3,711人の外国人市民が生活しており、10年前と比較すると約2倍に増えています。外国人市民の方々が共に暮らしていくためには、地域のサポートが欠かせません。

今回は、取手市白山にある日本語学校「国際アカデミー日本語学院取手校」の取り組みをご紹介します。多文化共生について考えるきっかけになれば幸いです。

地域と交流し、日本を知る。学ぶ。



東京芸術大学取手キャンパスの夏祭りに参加

国際アカデミー日本語学院取手校では、日本での生活に必要なルールやマナーについて学ぶ機会を設けており、取手警察署や消防署と連携して生活安全講話を実施しています。また、地域の高校生や大学生と交流し、互いの文化や生活について知る機会を大切にしています。今後も地域の皆様とのつながりを大切にしながら、留学生が地域の一員として安心して暮らせるよう、取り組んでまいります。

(国際アカデミー日本語学院取手校 学院長 藪内 茂貴)



地域の高校生や社会人と取手市の未来について考えるワークショップに参加

【学校紹介】

- ・2001年から外国人技能実習生への日本語教育を開始。
- ・2026年4月に茨城県で初めてとなる文部科学省の認定日本語教育機関として留学生の受け入れを開始。
- ・在籍留学生数は、21名（2026年7月1日現在）。技能実習生も常時100名程度受け入れている。

所在地：取手市白山3-2-29 TEL：0297-73-2131

留学生にインタビュー

国際アカデミー日本語学院取手校に通うアディカリ アシュミさん（ネパール出身）に、取手市の好きなおとこや難しいと感じる日本のルールについて話を伺いました。

【取手市・日本の好きなおとこ】

利根川の風景が好きです。ネパールに似たような景色の場所があるので、ネパールを思い出します。また、日本人の皆さんはとても親切で、日本語があまり話せない私にも丁寧に教えてくれることが嬉しいです。

【難しいと感じること】

公共の場所での振る舞いが難しかったです。電車の中では静かに話すこと、ゴミを分別すること、他の人の迷惑にならないよう気を付けることなどです。今では、こうしたマナーは他の人への敬意や思いやりを表すものだと感じており、とても大切なことだと思っています。

